

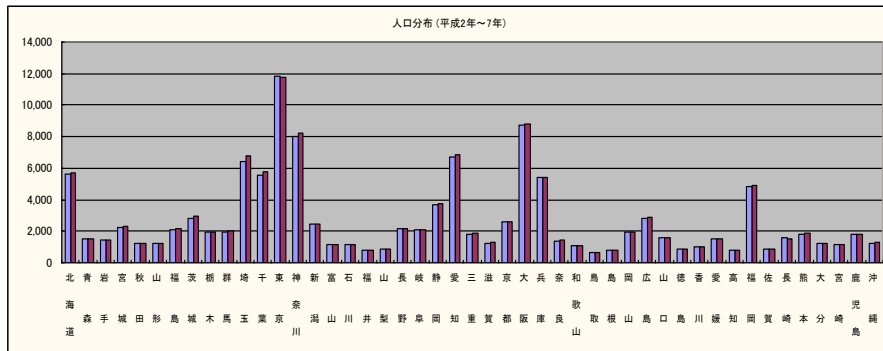
日本の人口の推移と傾向(参考資料)

下のグラフは日本の人口分布を都道府県別に表したものです。(単位は 100 人単位)

総人口は

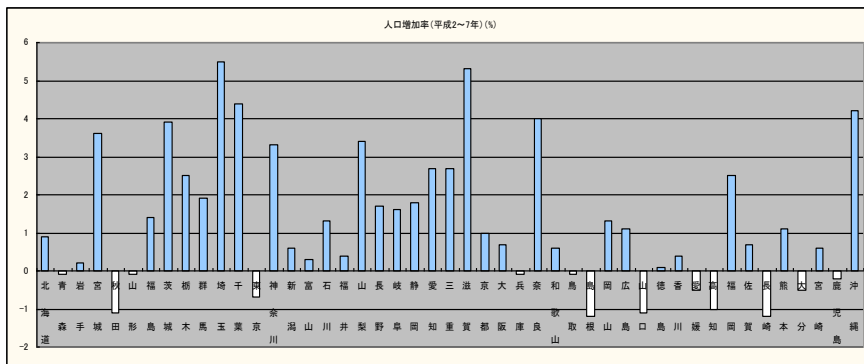
平成 2 年度	123,611,000 人
平成 7 年度	125,570,000 人

と若干増加していますが、都道府県別に見ると以下のような分布になります。



- やはり首都の東京が一番多いことが分かります。またその周囲の千葉、神奈川、埼玉などに人口が分散していることが分かります。
- 関西では大阪を中心として、兵庫、京都の順に人口が多いようです。
- しかし九州においては福岡が最も人口が多いですが、あまり他の地域に人口の分散が見られないことが分かりました。

次に、人口の増減をグラフに表してみました。

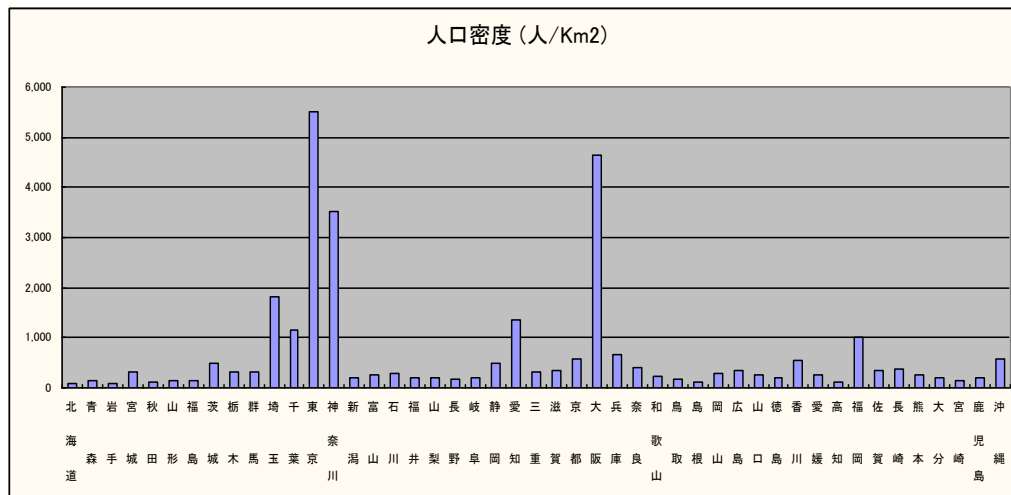


秋田、山口、高知などの地域で人口の減少がありますが、東京、兵庫などの大都市でも人口の減少(またはほとんど増加していない)が見られます。

大都市が増加していない代わりに、その周辺地域の埼玉、千葉、神奈川、滋賀などに人口の増加が見られます。

これは首都の人口密度の超過に対応して、周辺に人口の移動が起こっているものと思われます。

次に人口密度のグラフを作成しました。



上の図と比較してみると、やはり人口密度の高い地域では人口が増加していない、または減少していることが分かります。

しかし、首都圏の神奈川や埼玉などには、すでに人口密度が高いにもかかわらず依然として人口の流入が続いていることが分かります。

これらのことから、大都市の周囲の地域に人口の流入が続いていることがデータから読み取れました。

しかし、関東地方においては周辺地域の人口密度もすでに過密な状態にもかかわらず更なる増加が続きさらに土地不足が深刻であることが分かりました。